



ぐるり庄原 Look Around Shobara Camera Report カメラレポート

各地で行われたイベント&話題をお届けします。

REPORT ③

地域の人とハロウィンパーティー 下高保育所で収穫祭



▲プレゼントをもらう園児

下高保育所が10月30日、畑づくりでお世話になった地域の人を招いて、収穫祭を兼ねたハロウィンパーティーを開きました。保育室や廊下には、カボチャなどの飾りを置き、ハロウィンの雰囲気 연출。園児や先生は、お化けや魔女のハロウィンのコスチュームに身を包み、歌や踊り、手品などを披露しました。かわいい園児が「トリック・オア・トリート(お菓子をくれなきゃ、いたずらするぞ)」と唱えると、地域の人からプレゼントが手渡され喜びました。また、地域の人と一緒に収穫したサツマイモを焼き芋にしたり、りんごを食べたり、楽しいひと時を過ごしました。



農村絵巻や秋の味覚を楽しむ 比和やまびこ祭

REPORT ④

◀ 比和牛供養田植

多くの人々が集まった
歌謡ショー



ました。会場内には、地元の特産市場や自治振興区などが出店し、来場者は新鮮な農産物や加工品、比婆牛も肉の

丸焼きなど、地元ならではの味覚を楽しみました。同時開催の「からだいきいき健康まつり」では、骨密度や筋肉量、血圧などを測定し、いきいき度をチェック。参加者は「健康を見直すきっかけになった」と喜んでいました。

「第17回比和やまびこ祭」と「からだいきいき健康まつり」が10月25日、比和総合運動公園で開催され、親子連れなど約2,500人でにぎわいました。比和中学校と比和町郷土芸能振興会が、広島県無形民俗文化財の「比和牛供養田植」を囃子に合わせて披露。今回初めて和牛2頭が登場し、農村絵巻をかいまみる情景を繰り広げました。ステージでは、比和小学校の合唱や林あさ美さんの歌謡ショーなどが行われ、大きな声援と拍手に包まれ

REPORT ⑤

収穫の秋 園庭で大釜料理 総領保育所「秋のみのりの感謝祭」



▲園庭で豚汁とむすび、焼き芋を食べる

総領保育所が11月5日、地域の人を招いて「秋のみのりの感謝祭」を行いました。秋空の下、園庭に大釜を置き、薪を焚いて保育所の畑でできた大きなサツマイモやニンジンをつぶり入れた豚汁を作りました。園児は地域の人に教えてもらいながら、野菜を洗ったり皮をむいたり、切ったりして大釜に入れると、火吹き竹を使って火の勢いを大きくし「楽しみ。早くできんかな」「なんかいい匂いがしてきたよ」と楽しみに待っていました。また、新米と、保育所で採れた梅の実で作ってもらった梅干を入れて、たくさんのむすびを年長児が作りました。園児は、暑い夏にバケツで水やりや草取りをしてサツマイモやニンジンを作ったこと、地域の人と泥んこになって田植えをしたことなどを振り返りながら、お腹いっぱい「みのりの秋」を楽しみました。

大正ロマン展や手作り作品展 東城まちなみぶらり散歩ギャラリー

REPORT ①



▲母衣の行列

10月30日から11月5日までの7日間、東城本町筋で「城下町東城まちなみぶらり散歩ギャラリー」が開催されました。まちなかが城下町のたたずまいを生かしたギャラリーに生まれ変わり、躍動感あふれる絵手紙や東城の風景を描いた絵画などを展示。和製ランプやガラス製の氷コップなどで空間を演出した大正ロマン展や手作り作品の展示なども行われました。大勢の観光客は、作品を見たり、買物を楽しんだり、生演奏や食事を楽しんだり、思い思いの散策を楽しみました。期間中には、「平成の貝合わせ」や、まちなみライトアップを楽しむ「ヴァイオリンとピアノのコンサート」、伝統行事「お通り」も開催され、秋の東城に華やかな彩りを添えました。



▲店先に展示された切り絵

REPORT ②

七塚原高原に子どもの笑顔輝く 「こどもまつり」で子育て世代を応援

『高原に広がるこどもの時間～時を忘れてあそぼーや!～』をテーマに「第9回こどもまつり」が10月25日、高原の家七塚で行われ、親子連れや一般市民など2,800人が秋の一日を楽しみました。市内の各団体が構成する庄原市こどもまつり実行委員会が企画。庄原格致高等学校吹奏楽部の演奏で幕開けし、庄原市永江太鼓保存会の力強い演舞で盛り上がる中、子育てサークルやボランティア団体のアトラクション、保護者や地域の方による手づくり感あふれ



▲大盛況!子ども服のリサイクル広場



▲ダンボール迷路で夢中になって遊ぶ子ども

る体験コーナーで、子どもたちは時を忘れて楽しんでいました。企画・広報・準備・提供をすべてお母さんたちで実施した「子ども服のリサイクル広場」には、今回も多くの育児グッズが寄せられました。たくさんの親子でにぎわう中、「とても助かっている。今度はわたしも提供したい」というお母さんの声も聞かれました。



ぐるり庄原 Look Around Shobara Camera Report カメラレポート

各地で行われたイベント&話題をお届けします。

REPORT ⑨

芸術の秋 市民の力作158点 庄原市美術展覧会



▲前期展で展示された書の作品

第5回庄原市美術展覧会が田園文化センターで開催され、市民から応募があった作品158点が展示されま

した。

この展覧会は11月3日～8日の前期展(工芸・書・彫塑)と、11月12日～16日の後期展(日本画・洋画・写真)の2回に分けて行われ、延べ900人が来場しました。

来場者は「力作ぞろいすごいですね」と、作品1点1点じっくりと鑑賞していました。

応募作品の中から各部門で大賞と奨励賞が選ばれました。大賞は工芸部門が国原文夫さん(中本町)、永宗愛子さん(宮内町)、前田多寿子(西城町)、書(かな)部門が安部ミヨコさん(口和町)、書(漢字)部門が滝口利子さん(上谷町)、須田美年子さん(東城町)、彫塑の部が滝口吉隆さん(平和町)、日本画部門が原田圭輔さん(西城町)、洋画部門が高瀬伸吾さん(西城町)、写真の部が猫田薫さん(上原町)。

"いいいろ塗装の日"で奉仕活動 山内保育所の遊具などを塗装

REPORT ⑩

社団法人日本塗装工業会が「いいいろ塗装の日」と定め、全国各地で社会奉仕活動を展開する11月16日、広島県支部北部地区が山内保育所で、遊具や藤棚などの塗装作業を行いました。

作業が終わるのを待ちかねたように園庭に飛び出した園児は、鮮やかな色に生まれ変わった登り棒やブランコを見て大喜び。「きれいになってくれてありがとう」と大きな声でお礼を言っていました。



遊具にペンキを塗る会員▶

REPORT ⑪

中学生が勇壮な舞を披露 口和町で中学生神楽共演大会

中学生神楽共演大会が11月7日、口和ヒューマンライツで開催されました。神楽に取り組む中学生が交流と伝統文化の継承を目的とするこの大会は、今回で3回目。開催地となった口和中学校神楽同好会をはじめ、作木中学校2年生、美土里中学校神楽同好会が参加し、得意の演目で勇壮な舞を披露しました。

口和中学校は、大和武と当八の掛け合いが見どころにもなる「伊吹山」を演じ、即興の掛け合いを見せて客席を笑わせる一幕や、勇壮に悪鬼と悪蛇を退治する大和武の舞に大きな拍手が起きました。

生徒は「お互いの舞に刺激を受けた。他校から学んだことを今後の公演に生かしたい」と話していました。



悪蛇を退治する大和武の舞▶

歌謡ショーやトークに笑顔 ふれあい東城まつり

REPORT ⑥

第27回ふれあい東城まつりが10月25日、東城小学校グラウンドをメイン会場に開催されました。

東城保育所園児による竹太鼓の演技や女性組織連絡協議会の優雅な踊り、色とりどりの風船が舞い上がるスパークバルーンで開幕。秋の味覚を楽しめる屋台テントが並び、はしご車搭乗体験やマンモグラフィーをはじめとした健康診断などのイベントが行われました。

ステージでは、東城の歌自慢が集結した「ふれあいのど自慢」のほか、「美空ひばりさんのそっくりショー」や元びんから兄弟の「宮史郎歌謡ショー」などが行われました。来場した人々は、トークで笑い、歌声に聞き惚れ、笑顔が絶えないにぎやかな1日となりました。



▲歌謡ショーを楽しむ多くの人

24日は前夜祭「ふれあいの夕べ」で音楽芸能発表が行われたほか、17日から3日間、書道や生け花などの作品が展示されました。

REPORT ⑦

学校公開でしめ縄・リース作り 永末小ふれあい交流会



▲しめ縄づくりを学ぶ子ども

保護者や地域の人に元気な子どもたちの姿を見てもらおうと、永末小学校が11月5日、「ふれあい交流会」を開催しました。これは、広島県の「学校へ行こう週間」

にあわせて行われ、保護者や地域の人約40人が参観。永末太鼓や合唱を元気いっぱい披露しました。

続いて行われた「しめ縄・リース作り」では、下森作一さんが「手のひらでワラをゆっくりこすり合わせて」と手本を示し、子どもたちはおじいちゃんやおばあちゃんなどと一緒にしめ縄を作りました。しめ縄には木の葉やどんぐりなどを飾りつけリースにし、「部屋に飾りたい」と満足そうに見せていました。

下森さんは「この年になって、子どもたちと交流できるのはうれしい。太鼓も合唱もすばらしかった」と喜んでいました。

広島県は、学校教育に対する理解と関心を深めようと、毎年11月1日～7日を「学校へ行こう週間」と定め、学校を地域の人に公開する活動を行っています。

火災のないまちづくりに一役 聖慈保育園が消防車両を描く

REPORT ⑧

秋の全国火災予防運動にあわせて、聖慈保育園の園児が11月4日、消防車両の写生会を行いました。

園児は、カッコいい消防車両に目を輝かせていましたが、消防署員から火災の恐ろしさや火災のないまちづくりについてお願いがあったときには、真剣なまなざしで話を聞いていました。

その後、思い思いに消防車両を描き、勇壮な消防車の絵ができ上がりました。

この日描いた絵は、11月9日～16日の1週間、口和支所に展示され、「火災のないまちづくり」を訴えました。



▲消防車両を描く園児

各地で行われたイベント&話題をお届けします。

紅葉の名所へハイキング 弁当もって大富山に登ろう

REPORT 12



▲真っ赤に色づいたモミジの下で弁当を広げる参加者

11月8日、西城市街地が見渡せる紅葉の名所大富山で「弁当もって大富山に登ろう」と題したイベント

が開催され、西城地域の住民約60人が山頂を目指しました。

大富山ふもとの西城小学校に集合し、約2kmの登山道をゆっくりのんびり歩いて山頂に到着。参加者全員で落ち葉拾いや枝木の撤去作業を行った後、手づくり弁当を広げ、ちょうど見頃の紅葉を楽しみました。

大富山は西城市街地の南西に位置し、標高は511m。地元の五町自治振興区は、西城小学校の校歌にもうたわれる大富山を、より身近な住民の憩いの場にしようと、山頂の公園化や登山道の整備、草刈りに取り組んでいます。また、備北商工会と西城町観光協会では、気軽に登れる大富山への登山を秋の恒例行事としています。

REPORT 13

車いす地域で役立てて 庄原市体育協会比和支部が寄贈

庄原市体育協会比和支部から市役所比和支所へ車いす2台が寄贈されました。

この車いすは、県グランドゴルフ協会の会員が大会でホールインワンを出すたびに積み立ててきた100円基金を活用して購入したものです。

比和支部長の實延卓爾さんから車いすが手渡されると、三玉政則支所長は「地域住民の皆さんのために有効活用していきます」と感謝の言葉を述べました。

實延さん(右)と三玉支所長(左) ▶



高めたい地域の福祉力 認知症介護予防講座

REPORT 14



▲講演する武原施設長

この講座は、庄原市が医療法人社団聖仁会に委託して実施している講座で、今年8回目。市民450人が参加しました。

第1部の地域からの活動報告では、上谷地区の小地

域サロンの取り組みや、庄原中学校からデイサービスでの職場体験の報告などが行われました。

第2部は、長崎県壱岐市の特別養護老人ホーム「光の苑」の武原光志施設長が「認知症高齢者を地域で支える」と題して講演。「認知症高齢者を支えるために、医療・福祉関係者と地域がネットワークを作ろう」と呼びかけました。

認知症の方を地域で支える「認知症サポーター」も庄原市では3,000人を超えています。参加者は「自身の家族が認知症になったとき、本当の意味で家族が力を合わせて支えるという視点や、地域の福祉力を高める取り組みを進めていきたい」と話していました。